

2023年12月18日 甲府市議会 本会議討論

甲府市役所の庁内組織の変更は 市職員の多忙化を進め、市民対応を疎かにするため

同意できません！

山田 厚

議案第119号 事務分掌条例の一部の改正することに同意できません。これは市役所庁内組織の見直しとのことですが、極めて疑問です。

●まず、議案そのものが、本日12月18日の最終日に出され、議会に審議するいとまもないままに、ここで採択となってしまうことが疑問です。

●それに、12月11日の本会議の部長答弁では、

『保健衛生部』を設置します」「税務総括監をはじめ税務部門を『企画財務部』から『市民部』に移管します」「『行政経営部』を行政経営機能を移管して『企画部』とともに・・・『行政経営部』を『総務部』に改めることにいたします」「時代の要請にこたえうる組織整備に努めてまいります」とこの内容の概略が議案前に答弁されたのです。

●議案も出ていない段階で、議会の審議もない段階で、採択もない段階で、

断定的に 「します」「します」「いたします」「まいります」では、おかしいではありませんか？

これでは、明らかに議会軽視です。

●また、庁内の意見・意思統一もほとんどないままに議会最終日に議案提出です。

課長・室長段階でもほとんど議論もされていないとのこと、職員組合との事前協議もないという。

—これで民主主義とはいえません

●わかりやすい組織名に戻すこと自体は反対ではありませんが、2021年度に大きく変更して、今度また3年も経過しないのにまた変更とはどうしてですか？

その、総括はどうなっているのですか？

新年度からあらたな組織変更でどのような利便性があるのですか？

各「課」と「室」はどうなるのですか？

それが今後だとされています。細かな予算も不明なままで、全く分かりません。

●心配なのは、なぜ今、この時期に、組織変更なのかもわかりません。

市職員の多忙化に拍車をかけ、市民が困難な時期であるのに職員対応も丁寧できなくなります。

- ・ 3月～4月の市の毎年の繁忙期に、
- ・ 「国からの経済対策」特に1月～2月までの4万円・7万円の支給業務があるのに、
- ・ 年度内にやりきれないとおもわれる道路改修などの大きな今回の補正予算、
- ・ パートナーシップ宣誓に伴う業務も、
- ・ 生成A I 導入に伴う業務も、
- ・ マイナンバーと健康保険証の秋までの廃止問題や、プレミアム商品券の追加の問い合わせも、
- ・ 市内でも、ゼロゼロ融資の本格返済で休業・廃業・倒産もつよまる時期だけに
市職員の業務は極めて多忙化にならざるを得ません。

●この時期の人手の対応も予算対応もないままに、何でこれから庁内の組織変更なのか、わかりません。たとえ正しいことであっても、実施時期で、おかしくなり、正しくなくなることもあります。

●今、職員は多忙化で疲れていると思わざるをえません

健康診断結果は、どうですか？ 長期休職者は、どうですか？

自己都合退職者は、どうですか？ 増えていますよね。

●これから、来年の夏にかけて、

コロナ感染活発期以上の多忙化が押し寄せています。

職員の多忙化は、丁寧な市民対応もできなくなることは、確実です

それに、拍車をかける庁内組織の変更は、今は止めるべきです。

●もっと、職員と市民の困難な実態にこそ、眼を向けるべきではありませんか
したがって、民主的と思えないし、議会軽視と思われる今はやるべきではない、
議案第119号に反対致します。

以 上